



ROCK PAINT

129・024・114・081ライン

ルーフペイントシリーズ

金属製屋根・トタン屋根・新屋根材用塗料

住宅用化粧スレート(新屋根材)などに

● 129-7000番級 ロック水性プロテクトルーフ

住宅用化粧スレート(新屋根材)

金属製屋根、トタン屋根などに

○ 024-1000番級 1液ユメロックルーフ

● 114-1000番級 ユメロックルーフ

● 081-1000番級 サンフロンルーフ



ロックペイント 株式会社

屋根は太陽光による紫外線や熱、雨、雪、霜などの自然条件を直接受ける厳しい環境におかれています。ロックペイントのルーフペイントシリーズでは、このような自然環境に対応するために、耐久性の高い強靱な塗膜を形成し、屋根の素材に応じた適切な塗料を取り揃えております。

ルーフペイントシリーズ 製品群

129ライン ロック水性プロテクトルーフ

水性一液型アクリルシリコン樹脂塗料

特 長

- 耐候性にすぐれ、長期間光沢低下や変退色が少なく、温度変化や雨、露などの自然条件の変化に対応する強靱な塗膜性能を持ちます。
- 長期にわたり美観を維持するため、塗り替えサイクルの延長が可能です。
- 美観を損なう藻・かびの発生を抑制し、清潔な住環境を維持します。
- 塗料は水性のため、環境に配慮しています。



使用方法

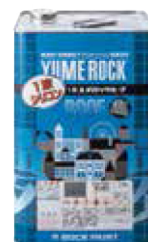
希 釈 剤	水	
塗 装 方 法	ハケ・ローラー	エアレス
希 釈 率	5～15%	5～15%
標 準 塗 付 量	0.15～0.18 (Kg/㎡・回)	
塗り重ね可能時間	2時間以上 (23℃)	
標 準 塗 り 面 積	41～50㎡ (2回塗り)	
容 量	15Kg	

024ライン 一液ユメロックルーフ

弱溶剤1液架橋型アクリルシリコン樹脂塗料

特 長

- 特殊速硬化技術により、作業効率が格段に向上しました。塗装時の発泡が起こりにくく、ハケ・ローラー運びもスムーズです。
- シリコン変性した特殊アクリル樹脂をベースにした高耐候・高光沢塗料です。
- 長期にわたり、艶引けや変退色が少なく、汚れも付きにくくなっています。



使用方法

希 釈 剤	塗料用シンナー	
塗 装 方 法	ハケ・ローラー	エアレス
希 釈 率	5～15%	10～20%
標 準 塗 付 量	0.11～0.13 (Kg/㎡・回)	
塗り重ね可能時間	2時間以上 (23℃)	
標 準 塗 り 面 積	52～63㎡ (2回塗り)	
容 量	14L	

114ライン ユメロックルーフ

弱溶剤2液型NADシリコンウレタン樹脂塗料 (アクリルシリコン樹脂塗料)

特 長

- 従来の弱溶剤2液ウレタン塗料に比べ、耐久性、耐汚染性にすぐれ、また匂いも非常にマイルドです。
- 塗料用シンナーで希釈可能なため、旧塗膜を侵す心配がなく、幅広い用途に使用できます。
- 鉛、クロムなどの有害な重金属を原料として使用していないため、環境にやさしい塗料です。



使用方法

希 釈 剤	塗料用シンナー	
塗 装 方 法	ハケ・ローラー	エアレス
希 釈 率	5～15%	10～20%
標 準 塗 付 量	0.11～0.13 (Kg/㎡・回)	
塗り重ね可能時間	2時間以上 (23℃)	
標 準 塗 り 面 積	57～68㎡ (2回塗り)	
容 量	15Kgセット (主剤13.5Kg、硬化剤1.5Kg)	
配合比 (重量)	主剤：硬化剤 (114-1140) = 9：1	

081ライン サンフロンプルーフ

弱溶剤2液型フッ素樹脂屋根用塗料

特 長

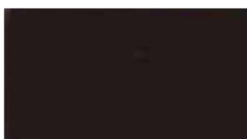
- 4フッ化構造のフッ素樹脂採用により紫外線 (UV) や風雨、錆などの劣化因子から塗装面を強力にブロックします。
- 塗料用シンナーで希釈可能なため、下地旧塗膜を侵しにくく幅広い用途に使用できます。
- 塗り替え改修の間隔が大幅に延びるため、維持費用 (メンテナンスコスト) の低減が図れます。
- 藻やカビの発生を抑制し、清潔な住環境を維持します。



使用方法

希 釈 剤	塗料用シンナー	
塗 装 方 法	ハケ・ローラー	エアレス
希 釈 率	5～15%	10～20%
標 準 塗 付 量	0.11～0.13 (Kg/㎡・回)	
塗り重ね可能時間	3時間以上 (23℃)	
標 準 塗 り 面 積	57～68㎡ (2回塗り)	
容 量	15Kgセット (主剤13.5Kg、硬化剤1.5Kg)	
配合比 (重量)	主剤：硬化剤 (081-1140) = 9：1	

ROCK ルーフペイント シリーズ 常備色一覧表

			
つや消しロイヤルレッド 129 024 114 081	つや消しニューモスグリーン 129 024 114 081	つや消しアイアングレー 129 024 114 081	つや消しブラック 129 024 114 081
			
キャメルオーカー 129 024 114 081	ロイヤルレッド 129 024 114 081	ブリックレッド 129 024 114 081	チョコレート 129 024 114 081
			
ウォルナットブラウン 129 024 114 081	新ブラウン 129 024 114 081	ココアブラウン 129 024 114 081	ダークブラウン 129 024 114 081
			
エバーグリーン 129 024 114 081	ニューモスグリーン 129 024 114 081	ノアール 129 024 114 081	新コーヒブラウン 129 024 114 081
			
ライトブルー 129 024 114 081	ナイスブルー 129 024 114 081	ナスコン 129 024 114 081	アイアングレー 129 024 114 081
			
シルバー 129 024 114 081	ねずみいろ 129 024 114 081	グレー 129 024 114 081	ブラック 129 024 114 081
			
銀黒A 129 024 114 081	銀黒B 129 024 114 081	銀黒C 129 024 114 081	ロック水性プロテクトルーフ サフ (セメント系屋根材 下塗り用)

サビ止め塗料 ～ サビカットⅡ・サビカットプラス・2液型サビカット ～

			
赤サビ色	グレー	ホワイ	ブラック (サビカットプラスを除く)

- (注) ● この見本帳は紙に塗装されていますので、実際の塗料に比べ色・ツヤに差異があります。特にサビ止め塗料では製品間で多少異なります。色彩については塗り板等で確認してからご注文ください。また、塗料価格は色によって異なります。
- 広い面積を塗装する実際の現場施工の場合、色・ツヤが見本帳と異なって見える場合があります。
 - ユメロックルーフ、1液ユメロックルーフのシルバーをはじめ、銀黒A・銀黒B・銀黒Cは、平滑面にハケやローラーで塗装しますと、ツヤむらやメタリックむらが目立つことがありますのでご注意ください。エアレスなどで塗装すると美しく仕上がります。
 - 色見本は保管条件、保管期間により、少しずつ変化していくおそれがありますので、有効期限(2022年4月)を守ってください。

ROCK ルーフペイント シリーズ 常備色一覧表

品番	色名	ロック水性 プロテクト ルーフ	1液 ユメロック ルーフ	ユメロック ルーフ	サンフロン ルーフ	品番	色名	ロック水性 プロテクト ルーフ	1液 ユメロック ルーフ	ユメロック ルーフ	サンフロン ルーフ
**11	ブラック	●	●	●	●	**56	ココアブラウン	●	●	●	●
**21	つや消しニューモスグリーン	●				**57	チョコレート		●	●	
**22	つや消しブラック	●				**58	新コーヒーマウン		●	●	●
**24	つや消しアイアングレー	●				**61	キャメルオーカー	●			
**27	つや消しロイヤルレッド	●				**62	エバーグリーン		●	●	
**31	銀黒A		●	●		**64	ねずみいろ		●	●	
**32	銀黒B	●	●	●		**66	ウォルナットブラウン	●			
**33	銀黒C	●	●	●		**75	ライトブルー		●	●	
**34	ブリックレッド		●	●		**76	ナスコン		●	●	●
**35	ダークブラウン		●	●	●	**77	ロイヤルレッド	●	●	●	
**39	グレー	●	●	●		**78	新ブラウン		●	●	●
**50	シルバー		●	●		**79	ノアール		●	●	●
**51	ナイスブルー		●	●	●	**81	ニューモスグリーン	●	●	●	
**54	アイアングレー	●									

(注) 品番は、便宜上下二桁の番号に統一しています。ご注文の際は、頭にライン番号と四桁の品番を付けてご注文ください。
例) **54 アイアングレー の場合
 ロック水性プロテクトルーフ 129-7054

下塗り塗料(サビ止め塗料、シーラーなど)の種類と適正

品 名		品 番	容量	上塗り塗料との適正				品 名		品 番	容量	上塗り塗料との適正			
				ロック水性 プロテクト ルーフ	1液 ユメロック ルーフ	ユメロック ルーフ	サンフロン ルーフ					ロック水性 プロテクト ルーフ	1液 ユメロック ルーフ	ユメロック ルーフ	サンフロン ルーフ
2液型サビカット (主剤) [硬化剤：061-7910] 希釈剤：塗料用シンナー 主剤：硬化剤 = 9：1	赤サビ色	061-7530	16kg セット	○	○	◎	◎	ハイパーシーラーエボ（透明） [硬化剤：033-6910] 希釈剤：塗料用シンナー 主剤：硬化剤 = 5：1		033-6150	15kg セット	◎	○	◎	◎
	グレー	061-7531	16kg セット												
	ホワイト	061-7532	16kg セット												
	ブラック	061-7534	16kg セット												
サビカットプラス 希釈剤：塗料用シンナー	赤サビ色	061-3530	16kg	×	◎	○	○	エポシーラーマルチ（透明） 希釈剤：塗料用シンナー		033-8150	14kg	○	◎	○	○
	グレー	061-3531	16kg												
	ホワイト	061-3532	16kg												
サビカットⅡ 希釈剤：塗料用シンナー	赤サビ色	061-1540	16kg、 4kg	×	◎	○	○	ロック水性プロテクトルーフシーラー 希釈剤：水		033-7150	15kg	◎	○	○	○
	グレー	061-1541	16kg、 4kg												
	ホワイト	061-1542	16kg、 4kg												
	ブラック	061-1544	16kg												
ユメロックシーラー (主剤) [硬化剤：033-5910] 希釈剤：塗料用シンナー 主剤：硬化剤 = 5：1	(透明)	033-5150	15kg セット	○	○	◎	◎	ロック水性プロテクトルーフ サフ 希釈剤：水		032-7111	15kg	◎	○	○	○
	ホワイト	033-5110	15kg セット												

●：最適 ○：適 ×：不適

注) 詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。
 ロックカチオンシーラーマルチ ホワイトは屋根用途には適しません。

●ルーフペイントシリーズ 性能比較

	ロック水性 プロテクト ルーフ	1液 ユメロック ルーフ	ユメロック ルーフ	サンフロン ルーフ
耐候性	○	○	◎	◎
光 沢	◎	◎	◎	◎
付着性	◎	◎	◎	◎
作業性	◎	◎	△ (二液型)	△ (二液型)

注) 評価基準は相対的な比較であり、絶対値ではありません。
 優 ◎ > ○ > △ 劣

標準塗装仕様

【軽度な不陸のある各種屋根材の場合（塗り替え）】

工程	塗料名	希釈剤	塗装方法・希釈率（%）	塗装回数	標準塗付量（kg/㎡・回）	塗り重ね可能時間（23℃）
下地調整	高圧洗浄によりゴミ、汚れ、こけ、かびなどを完全に除去する。高圧洗浄できない場合は、ホースで水を流しながらデッキブラシ、金属ワイヤーブラシなどで入念に除去する。旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分はケレン具を用いて完全に除去し、乾燥させて清浄な面とする。					
下塗り	ロック水性プロテクトルーフ サフ	水	ハケ、ローラー ： 0～10 エアレス ： 0～10	1	0.3～0.8	3時間以上
上塗り	【水性1液】 ロック水性プロテクトルーフ 各色	水	ハケ、ローラー ： 5～15 エアレス ： 5～15	2	0.15～0.18	2時間以上
	【弱溶剤1液】 1液ユメロックルーフ 各色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー ： 5～15 エアレス ： 10～20	2	0.11～0.13	2時間以上
	【弱溶剤2液】 ユメロックルーフ 各色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー ： 5～15 エアレス ： 10～20	2	0.11～0.13	2時間以上
	【弱溶剤2液】 サンフロンルーフ 各色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー ： 5～15 エアレス ： 10～20	2	0.11～0.13	3時間以上
縁切り	水切り部で瓦が重なり合った部分は、皮スキなどで塗料の除去、縁切りを行う。					

※アスファルトシングル材への塗装は上塗り【水性1液】ロック水性プロテクトルーフを選択してください。その場合、塗料の使用量は0.2～0.3（kg/㎡・回）になります。

【住宅用化粧スレート（新屋根材）、セメント瓦、スレート瓦などの塗り替え】

工程	塗料名	希釈剤	塗装方法・希釈率（%）	塗装回数	標準塗付量（kg/㎡・回）	塗り重ね可能時間（23℃）
下地調整	高圧洗浄によりゴミ、汚れ、こけ、かびなどを完全に除去する。高圧洗浄できない場合は、ホースで水を流しながらデッキブラシ、金属ワイヤーブラシなどで入念に除去する。旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分はケレン具を用いて完全に除去し、乾燥させて清浄な面とする。					
下塗り	【水性1液】 ロック水性プロテクトルーフ シーラー	水	ハケ、ローラー ： 0（通常不要） エアレス ： 0（通常不要）	1	0.13～0.20	2時間以上
	【弱溶剤1液】 エボシーラーマルチ	塗料用シンナー	ハケ、ローラー ： 0（通常不要） エアレス ： 0（通常不要）	1	0.08～0.10	3時間以上
	【弱溶剤2液】 ハイパーシーラーエボ	塗料用シンナー	ハケ、ローラー ： 0（通常不要） エアレス ： 0（通常不要）	1	0.08～0.13	4時間以上 7日以内
上塗り	【水性1液】 ロック水性プロテクトルーフ 各色	水	ハケ、ローラー ： 5～15 エアレス ： 5～15	2	0.15～0.18	2時間以上
	【弱溶剤1液】 1液ユメロックルーフ 各色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー ： 5～15 エアレス ： 10～20	2	0.11～0.13	2時間以上
	【弱溶剤2液】 ユメロックルーフ 各色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー ： 5～15 エアレス ： 10～20	2	0.11～0.13	2時間以上
	【弱溶剤2液】 サンフロンルーフ 各色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー ： 5～15 エアレス ： 10～20	2	0.11～0.13	3時間以上
縁切り	水切り部で瓦が重なり合った部分は、皮スキなどで塗料の除去、縁切りを行う。					

- ※下塗りは上記の他に弱溶剤2液タイプのユメロックシーラー（透明・ホワイト）も使用できます。
- ※下塗りエボシーラーマルチ塗装後、上塗り【水性1液】ロック水性プロテクトルーフで仕上げる場合、塗り重ね時間は4時間以上（23℃）あけてください。
- ※下塗りに溶剤型を使用する場合、旧塗膜の種類、付着状態によりリフティングを生じるおそれがありますので、あらかじめ試し塗りを行ってください。
- ※上塗りにロック水性プロテクトルーフを使用する場合、取り合い部分の金属面への下塗りにはハイパーシーラーエボまたは2液型サビカットを塗装してください。

【金属製屋根、トタン屋根など塗り替え】（1液ユメロックルーフ・ユメロックルーフ・サンフロンルーフ）

工程	塗料名	希釈剤	塗装方法・希釈率（%）	塗装回数	標準塗付量（kg/㎡・回）	塗り重ね可能時間（23℃）
下地調整	旧塗膜ではがれかかった部分、ふくれ、さび発生部分などは電動工具を主体に皮スキ、金属ワイヤーブラシなどのケレン具で完全に除去する。チョーキングしたところ、ゴミ、汚れなどはサンドペーパーなどで除去した後、高圧洗浄を行い、乾燥させて清浄な面とする。					
下塗り	【弱溶剤2液】 2液型サビカット 各色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー ： 0～ 5 エアレス ： 5～10	1	0.13～0.15	4時間以上 7日以内
	【弱溶剤1液】 サビカットⅡ 各色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー ： 0～10 エアレス ： 10～20	1	0.12～0.14	4時間以上 7日以内
	【弱溶剤1液】 サビカットプラス 各色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー ： 0～10 エアレス ： 10～15	1	0.12～0.14	4時間以上 7日以内
上塗り	【弱溶剤1液】 1液ユメロックルーフ 各色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー ： 5～15 エアレス ： 10～20	2	0.11～0.13	2時間以上
	【弱溶剤2液】 ユメロックルーフ 各色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー ： 5～15 エアレス ： 10～20	2	0.11～0.13	2時間以上
	【弱溶剤2液】 サンフロンルーフ 各色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー ： 5～15 エアレス ： 10～20	2	0.11～0.13	3時間以上

- 【標準仕様共通の注意事項】
- 塗装仕様の各数値は標準的な塗装の場合であり、被塗物の形状、気象条件、施工条件などの要因で範囲が広がる場合があります。
 - 夏場（高温下）では硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かずには実施してください。
 - 下塗りは種類と適性の表をご参照ください。
 - 新屋根材で下塗りに溶剤型を使用する場合、旧塗膜の種類、付着状態によりリフティングを生じるおそれがありますので、あらかじめ試し塗りを行ってください。

施工上の注意事項

- 塗料は全体をよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- 気温が低いときや、湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測される時は外部の塗装は避けてください。
- 素地が直射日光などで極端に熱くなっているときは、塗装を避け、少し冷えてから塗装してください。
- 塗る面のゴミ、かび、こけ、さび、砂、枯葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 水性の塗料で塗り替える場合、さびの削りカス(さび、鉄くず)は完全に除去してください。塗り替え後、さびの発生の原因となります。
- エアレス塗装する場合は、塗装ミストによる汚染防止のために十分な養生を行ってください。
- 乾燥過程で霜、夜露などの影響を受ける時間帯や、昼と夜の温度差が大きい時期は、結露による跳びけ現象がおこる場合があるため、時間を考慮して塗装を行ってください。
- トタン板などで亜鉛メッキの目付量が多い場合には、下塗り塗料との密着が悪くなる場合があります。新しいトタン板に塗装する場合は、3〜4ヶ月屋外放置後表面の光沢がなくなってから塗装してください。
- トタンの折り曲げ部分、継ぎ目部分などは、膜厚が十分得られない場合がありますので、先に拾い塗りすることをお勧めします。
- 塗装時は、高いところから降り口を確保しながら塗装してください。塗りたての面は滑りやすいので、絶対に乗らないでください。塗り残しがあった場合も乾燥後に補修塗りをしてください。
- 作業時の安全には十分注意し、高所で作業する場合は安全ロープをかけて行ってください。
- 硬化剤は必ず専用硬化剤を使用してください。他の硬化剤を使用すると仕上がりが外観、塗膜性能に悪影響を及ぼします。
- 2液型サビカット及びユメロックシーラー硬化剤は、アミンブリード性の少ない主剤との相溶性にすぐれたアダクトタイプですが、施工時および硬化するまでの間、低温(5℃以下)になる所での使用はできません。
- 希釈には必ず指定のシンナーを使用してください。指定以外のシンナーを使用すると、塗料中の樹脂が破壊されて使用できなくなります。また、必要以上に希釈するとタレや色分れの原因になります。
- ユメロックルーフ、サンフロンルーフの硬化剤はイソシアネート系化合物を含んでいるため、吸引すると鼻、喉、気管支などに障害を起こすおそれがあります。特に換気に注意し適切なマスクを着用して作業を行ってください。過去にアレルギー症状を経験している人は取扱わないでください。
- 二液型塗料を使用する場合、主剤と硬化剤の配合比は必ず守り、可使用時間内(ユメロックルーフ、サンフロンルーフ、ハイパーシーラーエポ:23℃で約6時間、2液型サビカット、ユメロックシーラー:-23℃で約5時間)に使い切ってください。また高温時は可使用時間が短くなるため注意してください。
- 夏場(高温下)では硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず実施してください。塗り重ね時間が過ぎると、層間で密着性が低下します。塗装間隔があく場合は再び下塗りを塗装するか、ペーパーがけを実施してください。
- ユメロックルーフ、サンフロンルーフの低温時(10℃以下)塗装では、硬化剤との反応が遅くなるため、硬化前の降雨、結露などにより塗膜不良を生じる場合があります。
- ユメロックルーフを低温時に塗装する際は、ハイロック 反応促進剤を1〜2%添加してください。
- 塗装作業中および塗膜を乾燥させる際には、十分に換気を行ってください。
- 標準塗付量はハケ、ローラーの場合、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。塗装方法、被塗物の形状、環境などによって増減する場合があります。
- 塗り重ね可能時間(乾燥時間)は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより、多少変わります。

- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、塗膜不良となることがあります。また各工程において、当社指定以外の材料を使用した場合は、十分な性能が得られないことがあります。
- 弱溶剤型塗料に使用した塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- 溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりやすいので、素地調整後下塗り塗料(サビ止め塗料)で補修塗装を行ってから下塗り塗装してください。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- シーラー類や上塗り塗料には防錆性がありませんので、棟など金属製でできている部分が錆びている場合、錆などを除去、ケレンし、適性のサビ止めを下塗り後、上塗り塗装を実施してください。
- シーラー塗装後、塗装仕様の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間を守ってください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- 新屋根材などで素地に軽度の不陸がある場合は、下地調整材として「ロック水性プロテクトルーフ サフ」を使用してください。
- 新屋根材などで塗装後水切り部で瓦が重なり合った部分に塗料が付着していると漏れの原因となりますので、必ず皮スキなどを用いて塗料の除去と縁切りを行ってください。
- 露出している瓦の素地が脆弱な場合は、剥離の原因となりますので塗装しないでください。(瓦の張り替えをお勧めします。)
- 低汚染性については被塗物の種類や形状、また施工後特に塗膜が十分に乾燥する前、もしくは乾燥初期の段階で天候不良となった場合、その効果が十分に発揮されない場合があります。
- 塗り替えた塗膜は以前の塗膜と比較して、光沢、平滑性が向上し一般的に滑りやすい傾向にあります。塗装後の屋根上での作業には十分注意してください。
- 冬期においては、屋根上の雪が滑りやすくなることが想定されます。安全確認を行い、屋根に滑り止めなどの付帯設備を設置するなど対策をとることをお勧めします。
- 1液ユメロックルーフ、サビカットプラス及びサビカットⅡはスプレードストや製品に付いた紙、布、ローラーなどが積み重なると自然発火するおそれがありますので、廃棄するまで水に浸けてください。
- 水性塗料に使用するハケ、ローラーなどの塗装用具は水性用を使用し、用具や手に付いた塗料は使用後できるだけ早く水で洗い落してください。
- ロック水性プロテクトルーフ シーラーと上塗りは互いに混合すると、ゲル化して使用できなくなります。また、塗装用具の共用も避けてください。
- ロック水性プロテクトルーフ シーラーのさげ缶にはプラスチック容器を使用してください。金属類はさびが発生するおそれがあります。
- 洋風コンクリート瓦(モニエル瓦、スカンジア瓦)、粘土瓦(いびし瓦、釉薬瓦)への塗装はできません。
- アスファルトシングル材にロック水性プロテクトルーフ サフを下塗りした場合、弱溶剤型、溶剤型の上塗り塗料で仕上げることは避けてください。
- アスファルトシングル材の骨材の著しい剥がれや基材に反りがみられ劣化が進んでいる場合は、塗装できません。
- 無機系、フッ素系などで処理した住宅用化粧スレート(新屋根材)には、下塗りにハイパーシーラーエポを使用してください。
- 見本帳に記載していない素地や塗装方法、工程で施工する場合、塗膜不良を起こすことがありますので、使用する前に最寄の営業所にお問い合わせください。
- 下塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。
- 引火性の危険物および健康に有害な有機溶剤などを含有していますので、製品容器の注意書きおよび安全データシート(SDS)をよく読み、注意事項を厳守してください。

安全衛生上及び取扱上の注意

【製品の危険・有害性】

(水性塗料)

- 危険性のほとんどない製品ですが、目や呼吸器に入ることは避けてください。

(弱溶剤型塗料)

- 引火性の液体である。
- 溶剤蒸気を吸入すると有機溶剤中毒になる恐れがある。
- 目、皮膚、粘膜などに対し刺激性がある。
- 汚れたウエスをまとめて置いたり、スプレードストなどがたまってくと発熱し、自然発火のおそれがある。(1液弱溶剤型塗料)

【救急処置】

- 目に入った場合は直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んだり気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

【取扱注意事項】

(弱溶剤型塗料)

- 取扱は引火源のないところで行い、特に静電気が発生するような衣服の着用や取扱は避けてください。
- 溶剤蒸気やスプレードストを吸引しないように、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。

- 使用済みウエス、塗料かす、スプレードストなどは、発熱し自然発火のおそれがあるため、廃棄するまで水をはった容器に保管してください。
- 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。

(水性塗料・弱溶剤型塗料 共通)

- 取扱作業所には、局所排気装置を設け、塗装時および乾燥時には十分換気を行ってください。
- できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護めがね、保護手袋(耐溶剤性)、長袖作業着などを着用してください。
- 取扱後は手洗いおよびうがいを行ない、作業着に付着した汚れをよく落としてください。
- よくふたをして直射日光を避け、5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手が届かない一定の場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
- 指定された以外の製品と混合しないでください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
- 安全データシート(SDS)をよく読んで取り扱ってください。

【施工後の安全性についての注意】

- 本製品群は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分に注意を払うようご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。



ロックペイント 株式会社

東京営業部 〒136-0076 東京都江東区南砂2-37-2
TEL(03)3640-6000 FAX(03)3640-9000

札幌営業所 〒003-0011 札幌市白石区中央一条4-3-48
TEL(011)812-2761 FAX(011)812-9304

仙台営業所 〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代2-3-11 凌正ビル201
TEL(022)349-8677 FAX(022)283-3255

西関東営業所 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本1-15-16
TEL(042)700-3111 FAX(042)700-3112

大阪営業部 〒555-0033 大阪市西淀川区姫島3-1-47
TEL(06)6473-1650 FAX(06)6473-1000

名古屋営業所 〒454-0059 名古屋市中川区福川町1-1
TEL(052)351-6500 FAX(052)361-7433

岡山営業所 〒701-1134 岡山市北区三和1000番34
TEL(086)294-1201 FAX(086)294-6966

福岡営業所 〒811-0119 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3-2-1
TEL(092)962-0661 FAX(092)963-1241

URL <http://www.rockpaint.co.jp>

- 本カタログの内容については、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。
- また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販 売 店